

中部地区 公民館だより

第154号

令和5年12月1日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

じいちゃん
ばあちゃん

いっぱい
教えてね

11月15日(水)、上山小学校多目的ホールとアリーナを会場に、上山小学校1年生と祖父母、中部地区・北部地区高齢者との昔遊び交流会が行われました。コロナ禍で中止が続き、4年ぶりの開催となりました。久々のふれあい交流に高齢者の笑顔と児童の元気な声が会場いっぱいに響きました。限られた時間ではありましたが、9種目の昔遊びを体験し、新しい遊びの発見ができたことと思います。一緒に遊んだ折り紙や紙飛行機、あやとりや糸電話などは家庭でも楽しめるようにお土産になりました。あっという間に時間が過ぎ、最後にプレゼントの交換をして終了となりました。参加者からは「まだまだ一緒に遊んでいたいな」と名残惜しそうな声が聞こえてきました。

もしもし聞こえますか？

あやとり教えてください！

上山ふるさと

ふれあいフェスティバル

高齢者から紙風船のプレゼント

コマはこうやって
回すんだよ

児童のみなさん
から元気いっばい
の歌と踊りの
プレゼント

はこべの会学習会 健康講座



管理栄養士
渡辺真理さん



10月25日(水)、山形大学医学部 管理栄養士 渡辺真理さんを講師に迎え、事前アンケートをふまえた上で「生活習慣病と栄養不足を防ぐ高齢期におすすめの食生活」と題して、食生活の指導や理想的な血糖値の変化など、血圧や血糖値などの話を聞くことができました。

10月31日(火)、男の七宝焼き教室を行いました。

初めての方が多かったのですが、世界でひとつだけの手作りキーホルダーは満足の出来上がりだったようです。



参加者全員の作品です

男の七宝焼き教室



公民館大掃除



11月4日(土)、公民館利用団体の方に協力をいただき、公民館大掃除を行いました。

スリッパ拭き、調理室の食器をすべて洗って食器棚にしまうという大変な作業をしていただきました。

公民館清掃にご協力いただきありがとうございました。

はこべの会学習会 美術館、映画

11月9日(木)、10日(金)、山形美術館で山形市生まれの画家の絵画展を見学してきました。

映画は《人生、山あり谷あり ゆとりナシで日々を過ごすドラマ》「ゆとりですがなにか」を鑑賞してきました。



参加者募集

参加申込はすべて12月5日(火)
午前9時から受付します。

ケーキづくり教室

デコレーションケーキを1ホールつくります

日時 12月16日(土) 午後1時30分から
場所 中部地区公民館 調理室
講師 果樹工房 YOSHIDA 吉田安俊さん
対象 中部地区在住の方
募集 7組程度(定員になり次第締切ります)
材料費 1,000円
申込締切 12月8日(金)
持ち物 エプロン、三角巾、マスク着用



*親子、夫婦、祖父母と孫など家族
で参加してみませんか?

出前スポーツ教室①

シャフルボード

日時 12月22日(金) 午前10時から
場所 中部地区公民館 多目的ホール
講師 NPO 法人 かみのやまスポーツクラブ
対象 中部地区在住の方
参加料 無料
申込締切 12月15日(金)
持ち物 屋内シューズ、必要な方は飲み物



健康ポイント対象事業 20P

出前スポーツ教室②

ボディメンテ

日時 1月10日(水) 午前10時から
場所 中部地区公民館 多目的ホール
講師 NPO 法人 かみのやまスポーツクラブ
対象 中部地区在住の方
申込締切 12月27日(水)
参加料 無料
持ち物 ヨガマットがある方はお持ちください
屋内シューズ、タオル、必要な方は飲み物



健康ポイント対象事業 20P

12月の予定

4日(月) 演奏会②
(アンサンブルだっちゃ)
5日(火) ヨガ教室②
13日(水) はこべの会学習会(カローリング)
16日(土) ケーキづくり教室
20日(水) はこべの会サロン
22日(金) 出前スポーツ(シャフルボード)

29日(金)から1月3日
(水)まで年末年始休業

はこべの会 サロン

★ みんなで作るサンドイッチで
★ クリスマスパティー

日時 12月20日(水) 午前10時から
場所 中部地区公民館 多目的ホール
会費 300円
締切 12月14日(木)

12月の百歳体操

7日、14日、21日

地域の宝再発見

NO.87

のぶまさ

藤井松平氏シリーズ3. 「松平信将侯」～5. 「宇留野春庵奔走と山村家老の裁定」

前回は、百姓衆の日頃の鬱憤^{うっぶん}の叫びを取り上げました。生活の困窮、施政・役人の歪み、時代の進展に治政が追いついていなかった様子が如実に訴えられています。

家老から派遣された藩医宇留野春庵、納め方神尾忠右衛門、大庄屋山田藤右衛門は百姓の訴える困窮の実情に驚き呆れ、しばらく思案の後に宇留野春庵は少し小高い塚に上って大音声で「我々三人はここに使者として参上し、村々の願いを聞き届け御家老山村縫殿助^{ぬいのすけ}に一命を惜します具に皆の衆の願いを言上し良いように取りはからう」と云いました。「このこと叶わない場合、三人とも皆の衆が生害して構わない。太守公（松平将信侯）は今江戸の將軍様から仰せつかった大坂加番の大役中でそれを果たさなければ藩は取りつぶしになる。この事情を勘案して我々三人の骨折りに免じ、御上執政の決定を待つようお願い奉り候」と平伏低頭してお願いしました。そして大急ぎ役所に馳せ帰り、御家老山村縫殿助、御用人初席松平善右衛門、酒井伊兵衛、大目付衆、郡奉行、諸役人が詰める前で百姓三千余が騒動に到った経緯^{なりわい}を細かく説明し、願いの数々は昔の掟（年貢や生業のきまり）に戻していただきたき由（前号の要求）を書面に書き添え差し出しました。

この書面を月番は大目付に、大目付は御用人に、御用人は御家老山村縫殿助に差し上げ、幾度も書面を御覧になったあと御家老は「この度の強訴は常ならぬ騒動、江戸表にても評議で相済まない事態、代々松平家の執権職として政道を蒙^{こうむ}る上はいずかたに知らせるに及ばず、郷民の願いの条々聞き届け解決しなければならぬ、御用部屋衆の一同承知せられよ」と発し、郡方三奉行、そして藩医宇留野春庵、納め方神尾忠右衛門と特別列座させた大目付に向かって指示を出しました。

三人は、早速見る目原に馳せ戻って大勢の郷民が待つところに分け入り「各々の願いを御家老様に申し上げたところ早速条々のお達しがあつた、御書き付けを読み上げるので有り難く

承知致すべく候」と大音声で読み上げました。覚

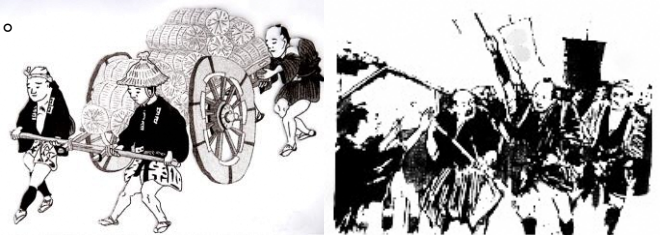
一、（年貢）金納年々相應の値段で収納致すべきこと、一、（年貢の頭巾隠し）御免定お引き渡しの通り取り計らうこと、一、津留（交易止）九月より三月までのこと、一、萱御家中寺社へお買い上げ停止のこと、一、御作事へ済み物（萱・木材）参着次第受け取ること、一、駒頭役人（馬改役人）御停止に取りはからうこと、一、山方役（山管理役人）の儀皆御取り上げになられ候こと、一、（農民が採った）松木下枝根松下々まで下され候こと、一、津留（交易検査）道掃除廻足諸奉公人庄屋へ立ち入るまじきこと、一、炭薪高値の折りは他所より留めること無用のこと、一、町方役馬（伝馬常備）三拾疋以上のこと、一、宗旨（改め）方帳面村々手前にて認め候こと、一、未進（郷夫の賦課未納）奉公人国勤め五俵、江戸勤め拾俵のこと、一、済物（上納）萱これまで九尺三寸縄以後六尺三寸縄のこと、一、御切米（奉公人の三季支給の俸禄米）等お買い上げあるまじきこと、右十五ヶ条の趣^{おもむきそつこう}惣郷中（全村百姓衆^{しゃめん}）の願い上げ赦免せしむる也、

延享四卯（1747）年五月十六日 三奉行衆判、山村縫殿助判。

庄屋、組頭、惣百姓へ。

外に金三百両、米千百俵の御書き付け一通、町方穀屋へ下直米の御書き付け一通、都合御書き付け三通なり。

以上が、惣郷中の実態を汲み取って裁定を下した国家老山村縫殿助の体制改めのお達しでした。



注）各絵図は「見る目原騒動」に関係ありません。

※参照文献：もっぱら「奥海道五巴」⑭を参照しました。その他に「上山市史」、「上山三家見聞日記」⑰、「上山間見聞随筆」⑱⑲を参照しました。